

平和行進活動交流ニュース

発行：原水爆禁止国民平和行進中央実行委員会事務局団体・日本原水協
電話：03-5842-6035 FAX:03-5842-6033 Eメール：antiatom55@hotmail.com

2019年
6月3日
発行

核兵器全面禁止・廃絶の声を広島・長崎・世界へ届けよう

北海道→東京コース通し行進者の矢部常次さん(日本海)、丸宗市さん(太平洋)の日記を紹介します。

矢部常次

6月1日(土)《27日目》



時間が経過するのも早いです。

10年ぶり2回目の平和行進(2009年、東京夢の島から広島コース)です。核兵器禁止運動は、廃絶に向けて大きく変化して確信が持てる時代となり、今回礼文島スタートでワクワクして北海道に来ました。

国民平和行進北海道実行委員会の皆さんから「よろこんで歓迎する」との言葉通り、お会いした多くの皆さんに、残り1日となりましたが、感謝を申し上げます。

各地での61年目の今年の平和行進は、これまでの長年の運動の積み重ねから苦労もあったと感じましたが、いろいろ工夫され私(矢部)を受け入れて下さり、毎日元気をもらいながらの行進となりました。

私は、初めての地での平和行進ですが、行進が終わってから参加の皆さんから「今年は昨年と比べ、沿道からの応援(家の窓から、そして道ゆく人が手を振ることや、車の中から笑顔で応えくれる方)などが多かった」と話してくださいました。

また、初めてのことでしたが、ある時は1日150kmも車で移動しての各市町村への表敬訪問です。

今年は大型の10連休もあり、また統一選挙があったので、当選された首長が訪問に温かく歓迎くださり、「今日の初登庁初仕事が、国民平和行進の皆さんとお会いすることです」と笑顔で迎えてくださいました。

別の市町村では、事前に実行委員会から「2019年原水爆禁止国民平和行進北海道実行委員会実施要項」が送られており、名刺交換の挨拶後すぐに、私達からのお願いの話の前に「ヒバクシャ国際署名は、大事である」と目の前でサインしていただいた首長もおいでになり、感激しました。

私は、朝早く起きて、時間のある限り地域を散歩しました。

道路にある花壇を手入れされている方などに挨拶して会話したり、登校する子どもに「おはよう」と声を掛けて話すこともありました。

ただ、不審者と思われないように注意は必要です(私の住む川崎市登戸での事件など、今の時代がおかしく、私の子どもの時代には、こんなことなどなかったと思い、複雑で事件に怒りを感じました)。

平和行進の時も、散歩する時も、私の服装は黄色のハッピー姿です。

その姿を見て「映画撮影のための下見ですか」「神奈川から来たのですか、何の宣伝ですか」などと話して下さる方もありました。

子どもと話す中で「平和がいいね、おじさんは東京まで歩くのよ」と話すと、いろいろ興味深く質問してきて話が弾むこともありました。

お会いできた多くの皆さんに感謝を申し上げ、明日北海道を後にして青森県から日本海コースを元気で平和行進を続ける励みとなりました。

私の行進のもう一つの思い「明日はどんな素晴らしい出会いがあるかな」と一歩一歩東京へ行進を進めます。これからもご支援よろしくお願い申し上げます。



丸宗市

5月24日（金）《19日目》



苦小牧市を訪問。教育長に署名していただく際に、「苦小牧市は平和事業として中学生の広島派遣事業を今後も継続してまいります」という力強いメッセージも記入していただきました。

白老町との引き継ぎ集会では、日本共産党の若い市議と町議が参加され、しっかり世代継承ができていたのを感じました。

登別では、副市長に核兵器禁止条約への調印（署名）・批准・参加を日本政府に求める意見書採択と、派遣事業を要請しました。

10時から登別市内を行進しました。出発に先立って、渡辺市議

から佐々木長仁さんについてのお話がありました。94歳で昨年行進に参加し歩き通した方です。行進に参加することが生きがいの一つになったとのこと。今年は1月にインフルエンザにかかりまだ外出していなくて、参加できずに残念がっておられること。「96歳の来年歩けるように頑張ります」とのことでした。平和行進の大切さをあらためて感じました。

夜は楽しい激励集会でした。全動労争議団で江戸川に来ていた渡部さんに会えて感激しました。



5月26日（日）《21日目》

今朝は室蘭を行進した後交流会に参加しました。「東京まで歩きます」と言いながら行進すると、「エー！？」や「頑張ってください」の声援に励まされました。

午後は戦争させない西胆振の会のスタンディングに参加しました。31度近い気温の中でしたが、平和行進をアピールしました。

